

第 24 回 AI 社会論研究会のお知らせ

掲載日 2017/4/27

第 24回 AI 社会論研究会

日時:5月2日18:00~20:00

場所:クックパッド株式会社

主催:RISTEX HITE 新保プロジェクト「法・経済・経営とAIロボット技術の対話に寄る将来の社会制度の共創」

共催:慶應SFC研究所AI社会共創・ラボ、クックパッド株式会社

タイトル:

「米国におけるAI・ロボット技術の社会実装に向けた産官学の取り組み
—開発原則の視座から—

講演者:

田中 絵麻 様

・2001年に財団法人国際通信経済研究所に入所。
一般財団法人 マルチメディア振興センター 情報通信研究部 主席研究員

2007年から財団法人マルチメディア振興センター(2012年に一般財団法人マルチメディア振興センターに改称)。

・早稲田大学アジア太平洋研究科国際関係学専攻(博士(学術))

内容:

米国では、この数年、AIを活用した機器やサービスの開発・市場展開が活性化するとともに、AI・ロボティックスの利用拡大に伴う社会・経済への影響についての期待と懸念が広がりつつある。米国では、2015年頃から、新技術による社会・経済的な恩恵を最大化するとともに、懸念されるリスクに対応するための対応策のあり方について、産官学の連携のもとでの議論・検討が進みつつある。なかでも、AI・ロボティックスの開発において、倫理的な原則を置くことで、メリットの最大化とリスクの最小化を図ろうとする動きが顕著である。こうした開発原則策定の動向に着目しつつ、米国における動向を報告する。